

「産業建設グループ集約に伴う苦情なし」と市長答弁 9月議会、行政改革に関する総括質疑で

上越市議会9月定例議会が1日から始まっています。私は2日、市議会を傍聴、日本共産党の上野公悦議員の総括質疑でのやり取りを聞いてきました。

この中で注目したことのひとつは平成26年度から本格実施した総合事務所産業建設グループの集約についての質疑です。村山市長は、集約に伴う市民実感などを問われ、「市民からは特段の意見等はなかった」、「大きな混乱もなく、集約に伴う苦情等はなかった」と答えました。

質疑では上野議員が、「総合事務所の産業建設グループ業務の集約では、集約元の住民の実感をどのように把握してきたか。また、本実施後の検証をどのように行ってきたか。あわせて、今後も検証を行う考えはあるか」と尋ねました。



これに対して村山市長は、「総合事務所の産業建設グループ業務の集約については、試行期間と位置づけた平成25年度において、実施状況をつぶさに把握しながら検証を、一定の評価が得られたものと判断し、平成26年度から本実施した」「本実施後においても、地域協議

会や町内会長協議会を始め、各区で開催する地区別懇談会などの機会を利用し、延べ128回市民の皆さんの評価や意見をお聴きしたが、産業建設グループ業務集約に関する特段の意見等はなかった」「行政内部では、より効果的な行政サービスの提供に向けた点検と改善を継続するとともに、職員の資質・能力の向上と組織的対応力の強化に努めてきた。(中略)災害時における対応力を強化するため、これまでの実践により得られた経験や現地確認を積み重ねる中で『災害時初動巡回図』の内容に不備はないか、実際の状況と相違していないか等のチェックを引き続き行いながら、随時、最新の状況に更新してきた。特に、今冬は大雪災害対策本部を設置し、あわせて一部の区に新潟県災害救助条例が適用される状況となったが、万全の除雪体制を確保するため、集約先と集約元が連携を密にする中で、市民からの問合せや苦情にスムーズに、また迅速かつ的確に対応したところであり、大きな混乱もなく、集約に伴う苦情等はなかった」と答えています。

産業建設グループの集約で関係市民が一番心配していたの葉、住民サービスがどうなるかです。とくに災害対応が注目されています。昨年度は市内の一部で大雪に伴う災害が発生した以外に大きな災害はありませんでした。今後もこの集約体制でいいのかどうかしっかりと見ていく必要があります。(上の写真は牧区高尾にて1月9日撮影)

辺野古のたたかい、ありありと

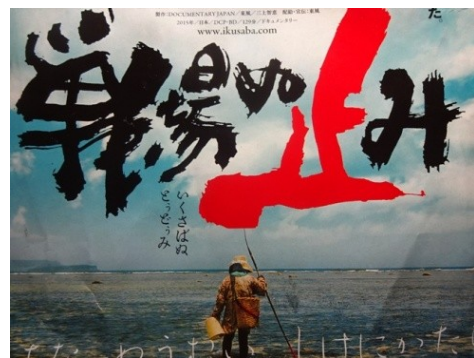
ドキュメンタリー映画「戦場ぬ止み」(い



【ツルリンドウ】リンドウ科の多年草。漢字で「蔓竜胆」と書きます。いま、薄紫色の花を咲かせています。杉林の縁で見つけました。ツル性植物らしく、ツルが伸びて、地を這います。写真は吉川区小苗代にて撮影しました。

くさばぬとうどうみ)を友人とともに観てきました。「標的の村」の三上智恵監督の作品。辺野古基地建設をめぐる現地での激しいたたかいを記録した貴重な映像記録です。

映画を観て、戦後70年というけれど、



沖繩ではまだ戦争は終わっていないと思いましたが。特に、たたかいで先頭に立って頑張っている85歳の女子さんの思いをたどる映像はその点をよく示していると思います。そして沖繩県知事選や総選挙で沖繩の民意がハッキリと示されたにもかかわらず、それを無視して新基地建設を強引に進める安倍内閣の暴走、ぜったいに許されぬことだと改めて思いました。いまの安保法制をめぐるたたかいとも共通していますね。

それにしても、沖繩の人たちは明るいし、みんな頑張り屋さんです。たたかいつつ、みんな歌い、踊り、食い、楽しむ。とても素敵だと思いました。豪勢な魚の刺身、カヌー競争など印象に残りました。最後に、もう一言、「大衆闘争はひとりではたかたかたはだめ」と言っていた辺野古ゲート前のリーダー、ヒロジさん、絶対、病気に負けないでほしい。

はしづめ法一の活動レポート

No.1723 2015.9.13

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

毎日、同じように暮らしていても、一日にひとつでもいいことがあると、その日もすごく充実した一日のように思えることがあります。雨がやんで、なんとか一日持ちこたえた空になった先日もそういう日になりました。

その日は朝からどんよりした雲が広がっていました。「しんぶん赤旗」日刊紙の配達を済ませ、事務所に行く途中で寄り道をしました。ヤマボウシの実を採ろうと思ったのです。すでに前日も直径二センチほどの実を数個採ってあったのですが、もう少し大きなものもあるはずだと思い、もう一度見て確認したかったのです。

私が立ち寄ったヤマボウシの木は背丈が三メートル以上もある大きな木です。木の下でゆっくりとながめると、前日採ったばかりなのに、赤くなつた実がいくつも増えていきます。そして二メートルを軽く超えた高いところに大きなものがいくつつかあるのが見えました。ジャンプしても、手が届くような高さではありませんでした。

私は常に車の中に入れておいた測定器赤白ポールを使ってヤマボウシを採ることにしました。ポールを最大限伸ばして実がついている柄の部分をつくと簡単に実を落とすことができます。ついで、落ちてくる実を手で受けとめるようにしました。そうではないと、傷みますからね。五、六個採って事務所まで物差しを使って計ってみると、一番大きなものは直径三センチもありませんか。これまで採ったものの中では最大でした。

その日の昼休み、私は直江津の石橋にある食堂「あひる」へ昼食を食べに出かけました。じつはその前の日もこの食堂でお昼を食べていました。その際、ヤマボウシの実をふたつだけ店長のS子さんにプレゼントしました。

ヤマボウシを手にしたS子さんは、「まあ、懐かしい。五〇年ぶりだね。これ、イッキって言ったっけね。白い蝶々のような花を咲かせるんだよね。確か、今頃、ヨド（吉川区尾神地内にある地名）で兄に採ってもらって食べた。甘くてね」と言って手を合わせました。私がヤマボウシの実を食べたのもS子さんと同じヨドにある木でした。ふたりとも尾神に住んでいた人間ですから不思議ではないのですが、それにしてもうれしいことでした。

二日連続して食堂「あひる」に行ったので、S子さんは大きな目を開けて、「まあ、ありがとうございます」と言って喜んでくださいました。そしてすぐに前日渡したヤマボウシの实の話になりました。S子さんは、「じつは、懐かしくて、すぐに食べちゃったんだけど、Kちゃんに私の分はと言われてね」と語りはじめました。KちゃんはS子さんの娘さんで、お店の手伝いをしている人です。

そこまで話を聞いたところで、私から、「そういうこともあるだろうと思って、きょうもヤマボウシの実を持ってきたでね」と言って、今度は五、六個渡しました。「そりゃ、うれしい。ほらKちゃん、またくんかったよ」そう言ってS子さんはKちゃんに伝えました。

その日、ヤマボウシのことから話はずみませんでした。S子さんは、私の父ことも語ってくださいました。あるとき、私の父から「人間、面倒なことはいらないんだよ。自分で出来ることを一生懸命やればいい」という言葉を聞いたというのです。「それを聞いて私は、好きなご飯づくり、ずつとやってきたの」とS子さんは言いました。父の言葉は私にとって初めて聞くものでした。ヤマボウシを持っていったおかげで、思いがけず父の言葉と出合い、胸がいっぱいになりました。

たけだ良介参院比例候補も参加し、焼き肉のつどい

9月6日はお昼前に事務所を出発、浦川原区の山本ブドウ園経由で三和、高田へと行きました。高田で平良木市議地域後援会主催の焼き肉の集いがあったのです。

この日はお昼前から雨になりました。雨が降っても、外でやるようにとテントを張っての実施です。準備係のメンバーのみなさんががんばっていました。もちろん、私も手伝いました。

集いには、110人を超える人たちが集まりました。冒頭、平良木市議が市政報告を行うとともに来年の市議選での再選をめざす決意を語りました。この日は来年夏の参院選比例予定候補の武田良介（たけだ・りょうすけ）さんも駆け付けました。武田さんはまだ36歳、3人の子どものお父さんです。武田さんは自分の生い立ちを紹介した後、戦争法案をめぐる動きと決意を語りました。武田さんは、国会での論戦では、戦争法案が憲法違反であることがますますはっきりしたこと、国民の理解が得られないなかでもごり押ししようとしていること、自衛隊幹部の暴走というとんでもない事態



が起きたことを明らかにしました。若々しくて、声は通るし、内容もいい。とてもいい青年政治家です。

私も一言挨拶させてもらいました。会場では県議選でお世話になった人たちと再会し、励ましていただきました。焼き肉も野菜もたっぷりご馳走になりました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月2日(水)	9月9日(水)
上越南消防署	0.053	0.043
上越北消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.043	0.047
頸北消防署	0.050	0.060
頸南消防署	0.047	0.057
東頸消防署	0.040	0.043
高士分遣所	0.047	0.053
名立分遣所	0.053	0.060